

異動・退職の職員より一言



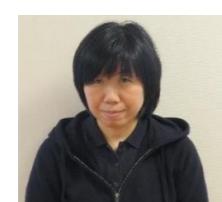
橋本匠



和田俊介



安藤武義



斎藤由美子



勝部まゆみ

舍人あかしあ園に通勤する際に、毎日舍人ライナーから富士山を見るのが楽しみでしたので、舍人ライナーに乗る機会が減ってしまうことが残念です。2年間という短い期間でしたが、みな

さんと過ごした時間はとても貴重な財産となっています。利用者のみなさんもご家族のみなさんも今後ともお会いした際は元気に話かけていただけるとうれしいです。（記：橋本）

この度神明障がい福祉施設に異動する事になりました。各グループの旅行に参加させていただいたり、イベントに参加させていただいたり皆さんと関わり幸せな6年間でした。ご家族の

方にも舍人開設から色々な事を教えていただき、そしてたくさん助けていただきました。異動しても舍人あかしあ園の皆さんに負けないように!!がんばりたいと思います。（記：和田）

舍人あかしあ園では4年間お世話になりました。あっという間にここまで来た感覚で、まだまだ皆さんと一緒に過ごしたかったというのが正直な気持ちです。新しい環境でも、舍人あかしあ

園での経験を活かし、さらなる成長ができるように頑張ります。そしてまたいつか、どこかで、皆さんにお会いできることを楽しみにしています！（記：安藤）

3年前に私を温かく迎えて下さった皆さん。優しく純粋な心に触れ人として何が大切か学ば

せていただきました。今まで本当にありがとうございました。（記：斎藤）

2年間ありがとうございました！利用者のみなさんが優しく笑顔で接して下さりとても楽しく働く事が出来ました。またお

会いできると思いますのでその時はたくさんお話をしましょう！（記：勝部）

研修報告

- 2/19 外部研修 「信頼関係を深め、やる気を促す育成面談」
3/2 外部研修 「障がい者支援における感情労働の理解とメンタルヘルスについて」
3/4 内部研修 「虐待防止グループワーク研修」
3/8.9.10 防災訓練「不審者対応訓練」

今後の研修

- 4/1 研修「誤嚥・窒息時対応訓練」

編集後記

今年度はコロナウイルス感染対策の為、多くのイベントが中止となってしまいました。その中でも利用者の皆さんに笑顔を届けられるよう、楽しい活動をこれからも探していくます。（記 荒井、片桐）



社会福祉法人あいのわ福祉会

Social Welfare Juridical AINOWA Organization

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-25-11 TEL03-3854-1741 FAX03-3854-1742

社会福祉法人あいのわ福祉会 舎人あかしあ園

発行責任者 大手英子

第25号

令和3年3月26日発行

施設長より

春の訪れと共に、新年度を迎える時期となりました。

令和2年度は感染症対策と共に始まり、舎人あかしあ園としてできることを職員一同、精一杯やってまいりました。ワクチン接種の取り組み等、少しずつ明るい兆しが見えてきたように思います。引き続き気を引き締めて対応していかねばと考えます。この誰もが経験したことのない非常事態を乗り越えるにあたって、自分も含めて多くの方が不安や孤立感に襲われたと思います。このような中、皆様と繋がっていることで大変救われたと実感しています。今後も舎人あかしあ園の職員目標である「真心を持った声かけ」を通して皆様との繋がりを深めていければと思います。

毎年、重点課題について職員間で話しあっていますが、令和3年度は新型コロナ感染症対策のために十分に実現できなかった「ふおらん」などの地域交流事業を通じて、地域の

皆様との繋がりを模索していきたいと考えています。

私事で大変恐縮ですが、この3月で定年退職となりました。ボランティアがきっかけでご縁をいただき、「在宅者をなくそう」という集まりから始まり、あかしあの家、あいのわ福祉会と長く働かせていただくことができたのは、すべてご利用者・ご家族・関係機関の皆様方の温かいご指導とご懇情の賜物と心より厚くお礼申し上げます。

さて、これから舎人あかしあ園はますます若返り、より面白くなります。どうぞ、引き続き、舎人あかしあ園へのご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。（記：大手）

看護師より～不織布マスクについて～

昨年からマスクの重要性が強調されています。今回は、マスクの種類、材料として使われている不織布（ふしきふ）についてまとめてみました。

現時点の日本で流通しているマスクは、次の3種類に分けられます。

- ①医療用マスク⇒サージカルマスクとも呼ばれ、法的基準なし。サージカルというのは“外科の”手術の”という意味。主な使用目的は、「着用者の呼気に含まれる微生物を遮断し、患者を防護するため」、「患者の体液や血液飛散などによる感染を防ぐため」の2つ。医療施設で活用されている。
②防塵規格マスク⇒産業用マスクとも呼ばれ、法的基準あり。

③家庭用マスク⇒法的基準なし。「ガーゼタイプ」と「不織布タイプ」の2種類に分けられる。不織布タイプは近年の花粉症流行により急激に普及し、現在は家庭用マスクの総生産数の9割を占めている。

このように医療用、産業用マスクも基本的に不織布で作られています。不織布とは、文字通り「織っていない布」のことです。繊維あるいは糸などを織ったりせず、熱的、機械的、科学的作用によって繊維を接着または絡み合わせた薄いシート状の布のことを言います。値段が安く、使い捨てを前提にしたもののが大半です。

まだまだマスク生活が続きますが、その用途や役割をよく知って、より安心な暮らしが過ごせるようにしたいものですね。（記：新垣）

リクエストメニュー週間

今年度は、新型コロナウイルス感染対策により、毎年実施していたクリスマスのバイキングを実施しませんでした。代わりに、利用者の皆さんから食べたい給食メニューについてアンケートを行い、「希望メニュー週間」を作り、様々な料理を提案して頂きました。

多数の希望から厳選をされたものを、2月と3月に1週間ずつ提供しました。揚げパンやカツカレーなど学校で食べた事がある物を提案したり、ショートケーキやプリンアラモードなどあま~いデザートを希望したり、世代や時代を感じられる面白いものとなりました。

2月は職員が館内放送でDJっぽくメニューを紹介したり、メニューにちなんだ曲を流しながら放送をしました。3月は異動される職員に放送を依頼し、利用者と協力してメニューを放送しました。

リクエストした物を実際に食べてみて、「美味しい!!」「また食べたい!!」と利用者の皆さんも普段と違う給食を笑顔で食べられていました。（記：荒井）



防災～水害訓練～

2月の防災訓練は職員向けに、水害対策訓練として布担架の使い方を確認しました。水害時は「垂直避難」ということで2階以上の階に避難するのですが、エレベーターが使えない状況になることも考えられるため、自力歩行で階段を上がる方以外は今回の訓練で使用した布担架などを使って移動していきます。（記：長岡）



グループ活動紹介

Aグループ

Aグループでは、自主生産のディスプレイを更新しました。皆さんと話し合いをしてディスプレイの仕方を考えています。皆さん、色々な意見を出しては実際に出来るか、検討しています。

値段のポップや羽やハートの飾りも一つ一つ利用者さんが作りました。

コロナ禍でふおらんで販売をする機会がなくなっていますが、また、販売できる日が楽しみです。園に来て頂ければ買う事も出来ますので、もしよろしければ、買いに来てください!!（記：和田）



Bグループ

Bグループでは、自主生産、レクリエーション、園芸、創作、トランポリン、作業の活動を曜日によって行っています。新しく始まった自主生産は、自分の得意な動きを活かしてフェルトボールやメモ帳を作り、細かい工程に挑戦して成功と失敗を重ねて購入してくれることをイメージしながら切磋琢磨しています。3月は今年度行ったレクリエーションの中から楽しかった3つの活動を選んでもらって行いました。それぞれの活動で皆さんの笑顔や考える表情を見られた活動になりました。（記：阿部）



Cグループ

12月の園芸活動では春に植えたローズマリーが大きく成長したので、利用者の方と一緒にクリスマスリース作りをしました。

1月のリトミックは「冬」をテーマに行いました。餅つきをしよう！ということで、順番に手作りの杵でお餅にしたクッショングを職員と一緒に力いっぱいいつきました。また、みんなで折り紙をちぎって作った雪を宙に舞わせて、フロアに雪景色をつくりました。（記：山口）

